

《Fグループ》

氏名
◎松尾 珠美
池永 達也
村本 継夫
カワモト 勝枝
稲葉 大和
高橋 怜生
荒川 優菜

◎はテーブルリーダー



<p>《支える》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 種目の壁を越えて支え合うことが大切 • 楽しんで支える仕組みづくり • ボランティアの充実 • 指導者の人材育成→指導者育成のための講座 コミュニケーション能力 技術面 • 安全管理者の設置ができるように育成 • 安全にスポーツができるように整備（道路や街灯、体育館） • 競技年齢を伸ばすためのアフターケアを充実させる • 「恋路」の体育館の使用状況をみんなにわかりやすくする • スポーツ施設のメンテナンス • 市内で行われるスポーツ行事の広報の充実 • 運動会をテレビで中継する • 市内で行われるスポーツはテレビ局等の協力を得て積極的に報道する。 • スポーツ施設案内ネットワークの充実化 • スポーツに関係したイベントの案内を人通りの多いところで掲示する • どんなスポーツチームや団体があるかの紹介 • スポーツサークルやスポーツ少年団の紹介と情報発信 • 公民館や小中学校でどのようなスポーツが行われているのか知ってもらうことが大切 <p>《観る》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 下松スポーツ公園を中心にプロスポーツ競技団体に活動してもらえば、それを観ることができる • 感動できる本物のプロの試合を招へい 	<ul style="list-style-type: none"> • スポーツ公園体育館を使用した競技イベントを行う <p>《する》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仲間づくり • スポーツ人口の底辺の拡大 • 現存チームの存続→メンバーの勧誘 • 施設使用のルール化 オリエンテーションの責任者は？ • 他チームとのコミュニケーション • サークルの活性化 • スポーツイベントの活性化 新たなサービスイベントの立上げ 各学校や各企業で、代表者を決め、その代表者でなにか共通したスポーツを決めてやっていく。 • 子どもから大人まで気楽に気軽に参加できるスポーツを増やす • 各地域に分かれて、運動会をする。 • 週1回又は月2回程度、テニスコート等を無料開放する。 • スポーツイベント開催に伴うムダを省く <p>《情報発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 年度更新時期に種目別の一覧表づくり 現在あるサークルやスポーツ少年団が登録し、市がまとめて情報発信 • ネット、ツイッター、ラインでの情報発信 • スポーツへ関わっている人への情報発信と関わっていない人への情報発信
---	---

《Gグループ》

氏 名	
◎	田坂 晶彦
	小林 桂子
	手嶋 康代
	橋本 佳明
	中村 京子
	河添 啓一
	奥本 雄大



◎はテーブルリーダー

<p>《エンジョイスports》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツをする年齢幅が広いので、年齢別の競技を増やしていく ・年齢を気にせずできる大きなスポーツ大会を開催する ・通勤や通学に運動を取り入れる工夫 ・各事業所に始業前にラジオ体操をするように呼びかける ・地域交流として、自治会を巻き込んだスポーツ大会の活性化 ・コスモス祭り等のイベントに合わせてスポーツ交流会の開催 ・世代間を超えて皆が楽しめるスポーツイベントの開催 ・様々な短期スポーツ教室の開催（月1度場所を変えて） →継続する団体がでてくるかもしれない ・中学と高校の部活交流（月1回程度） ・競技で、仲よく楽しくレベルアップ ・恋路のプールで水泳教室やウオーク教室を開催する 	<p>《お知らせ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の体育館や市の体育館、公民館などの予約状況がWebで確認できる仕組み ・プールやトレーニングルーム等の活用状況を広報する（知らない人もいる） ・温水プールなど利用したことのない市民のためにおためしの無料券を配布 ・みんなで楽しめるニュースポーツの普及（子ども、高齢者、障害者） ・スポーツ推進員による情報提供活動（口コミ） ・これまで以上の広報（Kビジョン、新聞、チラシ）
--	--

**[2]市民のスポーツ活動に関する
アンケート調査報告**

- ※比率はすべて百分率で表し、小数点第2位以下を四捨五入して算出しています。そのため百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ※質問が複数回答を伴う場合、回答の合計は調査数を上回ることがあります。
- ※それぞれのグラフ、表に対応する有効回答数をN：で記載しています。

1. 調査概要

(1) 調査の目的

下松市スポーツ推進計画策定に向けて、市民の皆さんのスポーツ活動の状況及び市のスポーツに関するご意見・ご要望等から課題等を把握し、計画に反映させていただきます。

(2) 調査の設計

対象者	配布人数	抽出方法	調査期間
20歳以上の住民	2,000人	無作為	2013年 6月～7月

(3) 回収状況

・有効回答について

配布数	有効回答数	有効回答率
2,000人	1,042人	52.1%

・有効回答の性別・年齢層別明細

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計	割合
男性	18	54	52	69	104	69	30	396	38.0%
女性	39	89	106	102	150	113	47	646	62.0%
計	57	143	158	171	254	182	77	1,042	100%
割合	5.5%	13.7%	15.2%	16.4%	24.4%	17.5%	7.4%	100%	—

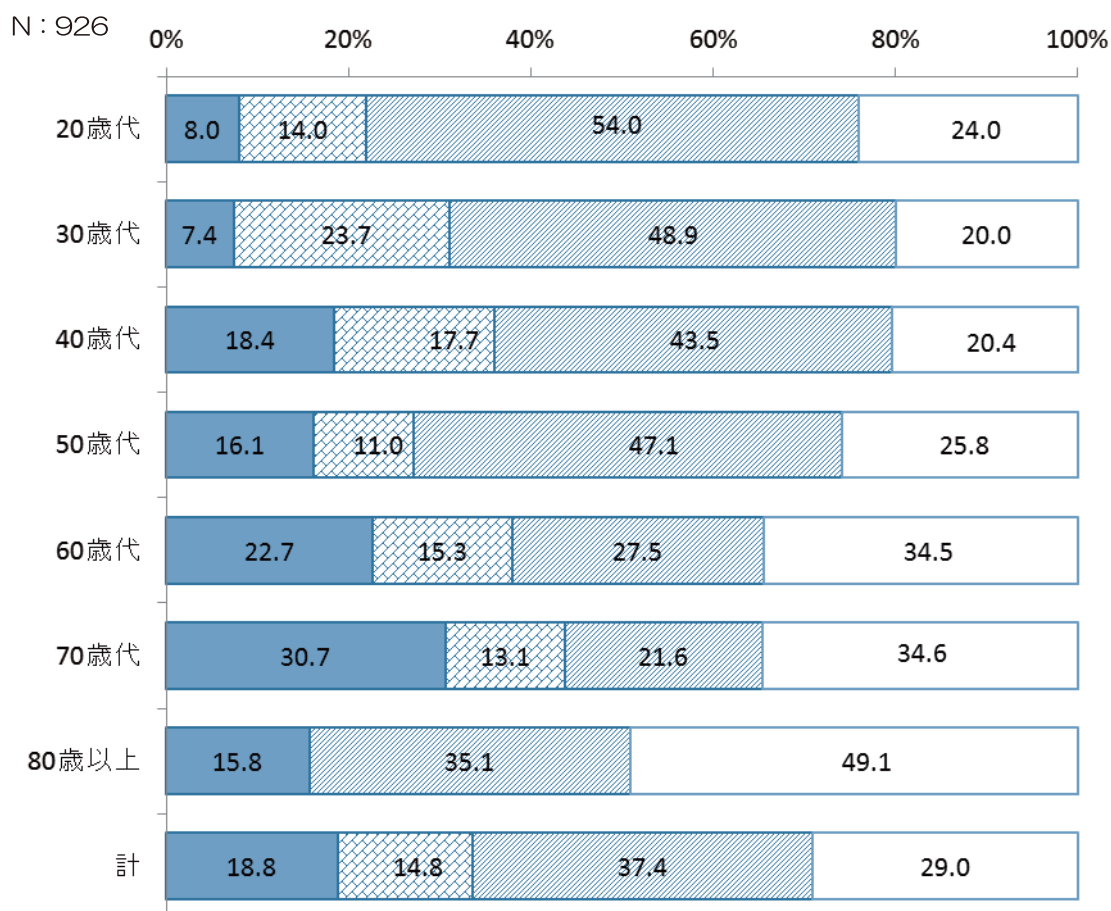
・有効回答の公民館区別明細（公民館区の回答者の割合・各区の回答者年齢構成）

	米川	末武・中村	花岡	久保	中央・豊井	笠戸・笠戸島・深浦	無回答	計
全体	28	313	166	219	255	48	13	1,042
割合	2.7%	30.0%	15.9%	21.0%	24.5%	4.6%	1.2%	100%
20歳代	0.0%	8.6%	8.4%	2.7%	3.5%	0.0%	7.7%	5.5%
30歳代	3.6%	19.5%	14.5%	9.6%	12.2%	4.2%	23.1%	13.7%
40歳代	7.1%	15.3%	18.1%	17.8%	12.2%	14.6%	7.7%	15.2%
50歳代	25.0%	12.1%	13.9%	25.1%	14.9%	18.8%	7.7%	16.4%
60歳代	42.9%	19.8%	22.9%	27.4%	25.5%	27.1%	30.8%	24.4%
70歳代	10.7%	16.9%	17.5%	11.9%	22.7%	22.9%	15.4%	17.5%
80歳以上	10.7%	7.7%	4.8%	5.5%	9.0%	12.5%	7.7%	7.4%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

2. 調査結果

問1 現在、あなたのスポーツ活動は、どのような状況にありますか。

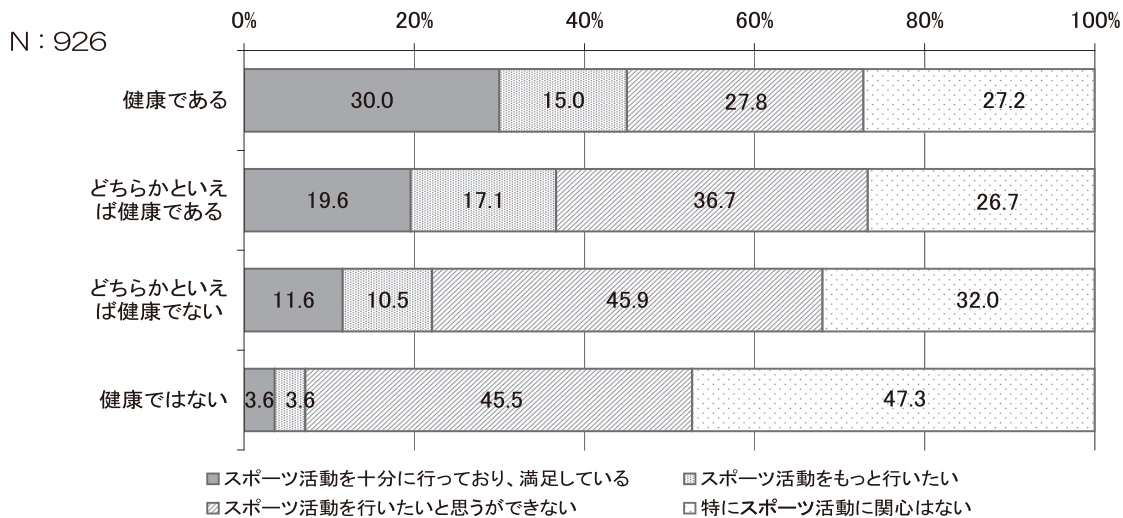
「スポーツ活動を十分に行っており、満足している」と回答した人の割合は、全体で 18.8% となっていますが、年齢層別で見ると、60～70 歳代でその割合が高く、20～30 歳代では低いことがわかります。「スポーツ活動をもっと行いたい」と回答した人は全体で 14.8% ですが、30 歳代では 23.7% と高くなっています。「スポーツ活動を行いたいと思うができない」との回答は、20～50 歳代で割合が高くなっています。



- スポーツ活動を十分に行っており、満足している
- ▨ スポーツ活動をもっと行いたい
- ▨ スポーツ活動を行いたいと思うができない
- 特にスポーツ活動に関心はない

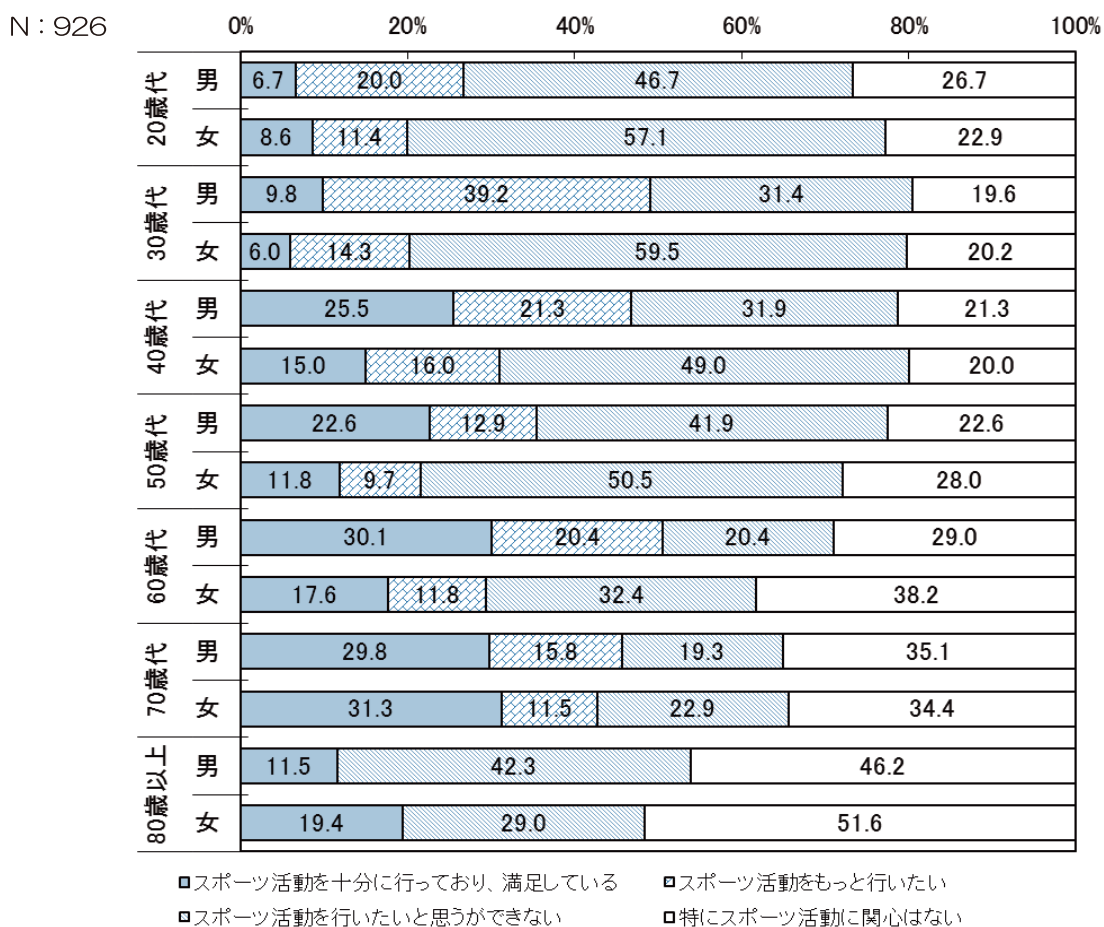
一健康観とスポーツ活動一

健康観の良い人ほど「スポーツ活動を十分に行っており、満足している」割合が高く、「特にスポーツ活動に関心はない」割合が低くなっており、スポーツの実践と健康に関係が深いことがわかります。



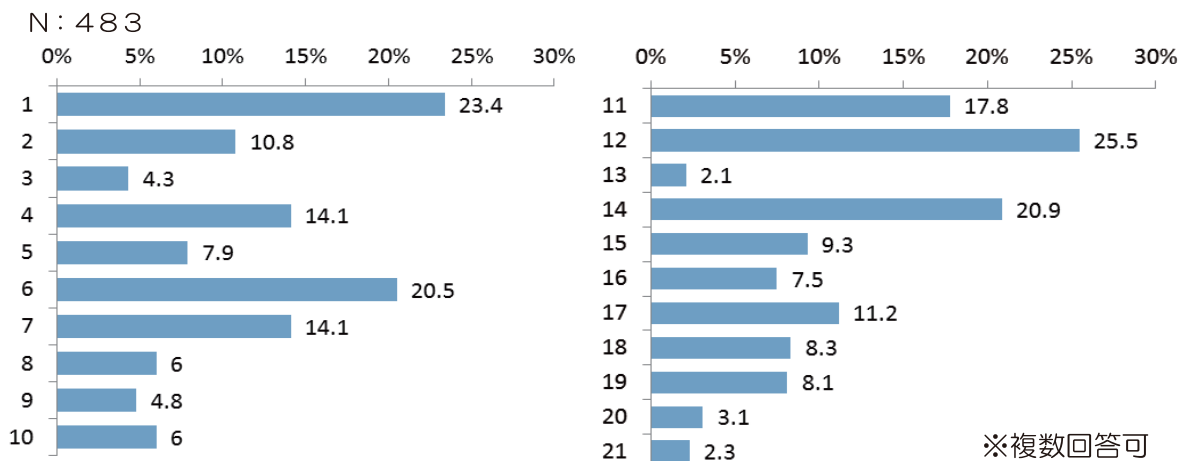
一性別・年齢別一

20～50歳代の女性に「スポーツ活動を行いたいと思うができない」と回答している割合が多くなっています。



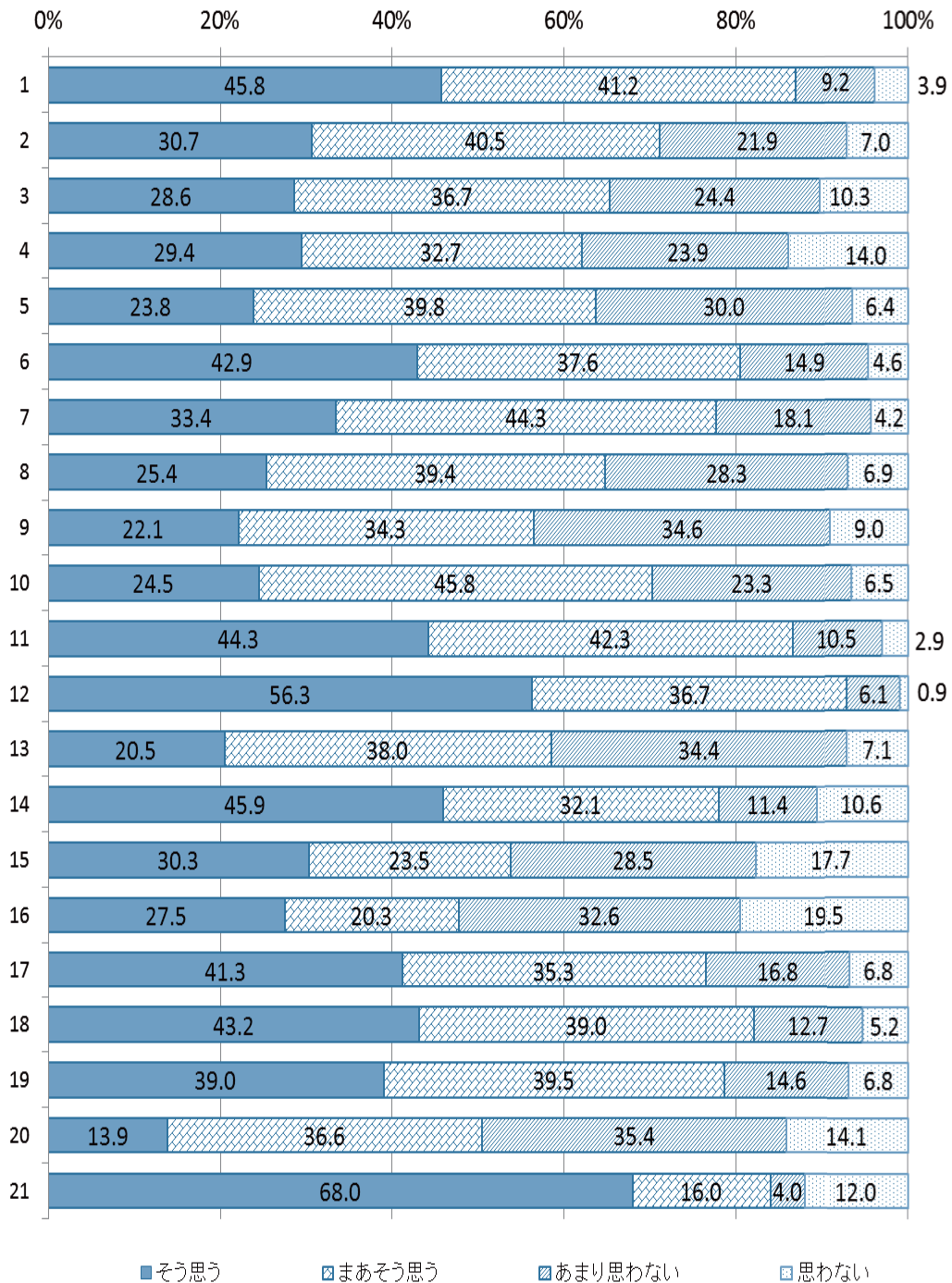
SQ1 【問1で「スポーツ活動をもっと行いたい」及び「スポーツ活動を行いたいと思うができない」と回答した人】どのような条件を整えば、さらにスポーツ活動をしたり、あるいはスポーツ活動を始めたりすることができると思いますか。

重要項目に選んだ数の多い順に、「自分の体力や好みにあったスポーツができればよい」、「身近なところにスポーツ施設や運動できるスペースがあればよい」、「勤務時間（授業時間）の都合がつけばよい」となっています。



1	身近なところにスポーツ施設や運動できるスペースがあればよい
2	家族で利用できるスポーツ施設があればよい
3	スポーツ施設の予約が簡単にできればよい
4	夜間にスポーツ施設を利用できればよい
5	身近にスポーツを教えてくれる人（指導者など）がいればよい
6	気軽に参加できるスポーツ教室があればよい
7	一緒に行く仲間がいればよい
8	地域住民が運営する地域スポーツクラブやサークルが身近にあればよい
9	気軽に参加できるスポーツイベントや大会があればよい
10	スポーツに関する情報が容易に入手できればよい
11	体調・健康状態が整っていればよい
12	自分の体力や好みにあったスポーツができればよい
13	球技など複数の人が必要な団体種目でも、個人ですぐに参加できるしくみみがあればよい
14	勤務時間（授業時間）の都合がつけばよい
15	休日が増えればよい
16	業務（学業）が軽減されればよい
17	スポーツクラブの会費（入会金、月謝など）が安くなればよい
18	施設の利用料金が安くなればよい
19	娯楽費等にゆとりがあればよい
20	誰かが誘ってくれればよい
21	その他

—各項目の判定—



—その他の記述—

・スポーツをする時、子どもを預かってくれるところ（その時間だけ無料で）・子どもと一緒に参加できる物（時間・種目等）があると良い・近くの公園でも大人も運動できる施設にして欲しい・年齢・性別ごとのサークルがあればよい・東陽在住ですが、小さいテニスコートしかなく、グラウンドは殆どスポ少専用・家事を家族で分担できればよい・公民館活動に新しい種目を入れて欲しい・恋路のスポーツ公園等バスがあればよい

問2 あなたは、過去1年間にスポーツ活動を行いましたか(学校の体育の授業を除きます)。

—この1年間で行ったスポーツ—

この1年間で行ったスポーツでは、多い順に「ウォーキング・散歩」、「体操(ラジオ体操等)」、「ジョギング・ランニング」、「水泳(プールで)」となっています。

N: 706

